

エシカルな鉱物・金属調達に関する公開質問状 2017 及び回答票

質問 1. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための管理システムについて伺います。

質問 1-1. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための方針を策定していますか。また、策定していない場合、今後策定する予定はありますか。

A. 鉱物・金属の調達方針を策定している

名称・公開場所：東芝グループ紛争鉱物対応方針

http://www.toshiba.co.jp/csr/jp/performance/social/procure.htm#conflict_minerals

名称・公開場所：東芝グループの調達方針

http://www.toshiba.co.jp/procure/jp/policy/index_j.htm

名称・公開場所：東芝グループグリーン調達ガイドライン

http://www.toshiba.co.jp/env/jp/products/chemical_j.htm#green

名称・公開場所：東芝グループ生物多様性ガイドライン

http://www.toshiba.co.jp/env/jp/management/biodiversity_j.htm

例；URL

B. 鉱物・金属に特化した調達方針はないが、全般の調達方針でカバーしている

(名称・公開場所：) 例；URL

C. 現在は全般の調達方針のみだが、鉱物・金属調達に特化した方針の策定を検討している。

(策定予定時期： 年 月頃)

D. 鉱物・金属の調達方針を策定していない。

(その理由：)

質問 1-1-2. 質問 1-1 で A～C と答えた方に伺います（質問 1-1-4 まで）。策定もしくは検討されている方針についてお答えください。鉱物・金属の調達方針において、どのような環境・社会問題への配慮を定めていますか（複数回答可）

A. 土壌や水系・大気の汚染を引き起こしていないか

B. 野生生物や生物多様性への悪影響を及ぼしていないか

C. 先住民族・居住者の生活や土地・文化を侵害していないか

D. 児童労働や、劣悪な環境・条件での労働を行っていないか

E. 武装勢力の資金源となる等、紛争に関連していないか

F. その他（関連する法令等の不遵守、あらゆる利害関係者への贈賄、強制労働、人身売買、差別、不適切な賃金や労働時間、従業員の団結権を尊重しない）

G. 対象とする環境・社会問題は特定していない

質問 1-1-3. 対象鉱物を定めていますか（複数回答可）

A. 金 B. スズ C. タンタル D. タングステン E. アルミニウム F. 鉄 G. コバルト

H. ニッケル I. 銅 J. 亜鉛 K. 銀 L. カドミウム M. 白金属 N. 水銀 O. 鉛

P. その他（赤りん、黄りん、セレン、アンチモン、ヒ素、ベリリウム）

Q. 特に定めてはいない

質問 1-1-4. 複数の鉱物に対する方針をお持ちの方に伺います。

鉱物ごとに異なる方針を定められていますか

- A.すべての鉱物に共通の方針を定めている
- B.一部の鉱物にのみ適用される方針がある

具体的に（東芝グループ紛争鉱物対応方針及びグリーン調達ガイドラインにおいて、1-1-3 で回答した鉱物・金属に関する方針を定めている。）

質問 1-2. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための内部管理体制を構築していますか。

- A.社内の管理体制を構築している
- B.常設の管理体制はない
- C.その他 ()

管理体制がある方

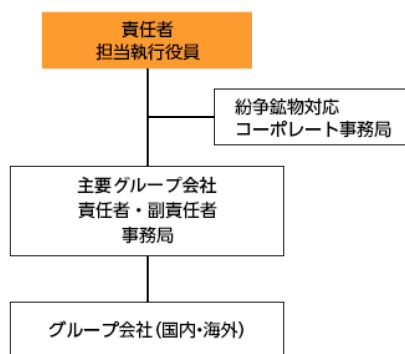
情報集約の仕組み、事務局、検討の場、責任者等についてご説明ください。（図があればそちらを用いて）

紛争鉱物対応については、CSR 担当役員が責任者となり、関係するコーポレート部門からなる「紛争鉱物対応事務局」が、「東芝グループ紛争鉱物対応ガイドライン」に従った活動を推進している。グループ会社は、それぞれ紛争鉱物対応責任者、事務局を選任。グループ会社の事務局連絡会で、東芝グループとしての取り組みの徹底と、情報を共有している。

紛争鉱物対応方針：

http://www.toshiba.co.jp/csr/jp/performance/social/procure.htm#conflict_minerals

<紛争鉱物対応推進体制>

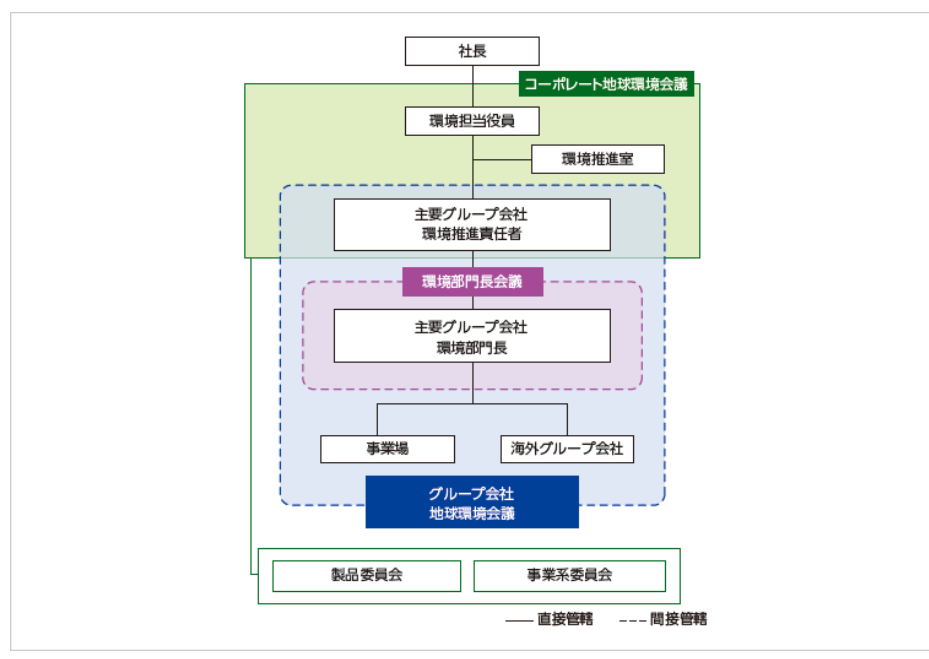


環境経営については、全社レベルの重要な方針や戦略、施策の立案・推進は、コーポレートスタッフの環境推進室が行い、会社幹部の承認を得るとともに全社への徹底を図っている。具体的には、環境担当役員が議長を務め、主要グループ会社の環境推進責任者とコーポレートスタッフ部門長をメンバーとする、環境経営に関するグループ全体を統括した意思決定機関である「コーポレート地球環境会議」を半期ごとに開催。環境問題についての経営・技術開発・生産・販売にかかわる環境諸施策の提言や、環境ビジョン達成に向けた環境アクションプランの進捗状況の確認・フォローを行い、方向性や計画を審議、決定し、全社方針を徹底している。

環境マネジメント体制：

http://www.toshiba.co.jp/env/jp/management/organization_j.htm

<環境経営推進体制>



質問 1-3. 鉱物・金属調達におけるリスクの特定および評価を行っていますか。

- A. リスクの特定及び評価のプロセスを開発し、サプライチェーン上のリスク特定の取組みを行っている
- B. リスクの特定および評価は特に行っていない
- C. その他 ()

質問 1-4. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための方針をどのような形でサプライチェーン上で徹底していますか。

- A. 一次取引先への通達事項として依頼
- B. サプライヤーとの取引基本契約書に、調達方針の内容を組み入れている
- C. サプライヤーと合意書を交わしている
- D. 特に文書化は行っていない
- E. その他 ()

質問 1-4-1. 質問 1-4 で D 以外を選択された方に伺います。上記に含まれる内容についてお答えください。(複数選択可)

- A. サプライヤーによる調達方針遵守を求める
- B. サプライヤーが、二次以下のサプライヤーに対して調達方針を遵守するように影響力の程度に応じて適切な措置をとることを求める
- C. サプライヤー自身による自社の調達方針策定や調査の実施を求める
- D. サプライヤーの調達方針遵守状況に関する活動を自社に報告することを求める
- E. その他 (東芝グループ調達方針に基づく調査の実施や取組みを求める)

質問 1-5. 苦情申し立ての仕組み

質問 1-5-1. 鉱物・金属調達における環境・社会配慮について、ステークホルダーからのフィードバックを得る仕組みを構築していますか。

- A. 構築している
 B. 構築していない

質問 1-5-2. 質問 1-5-1 で A と答えた方に伺います（質問 1-5-3 まで）。フィードバックを得る対象の□にチェックを入れ（複数回答可）、具体的仕組みをお書きください。

	対象	仕組み（オンラインフォーム等）	対応言語
A	<input checked="" type="checkbox"/> サプライヤー	「クリーン・パートナー・ライン」（お取引先様通報制度）を開設。通報した方の個人情報には本人の承諾を得ない限りクリーン・パートナー・ライン事務局外への開示はしない。	日本語
B	<input checked="" type="checkbox"/> 顧客・製品使用者	Web ページ上で設置しているお問い合わせ窓口から、製品サービス毎に問い合わせができる仕組みがある	日本語、英語
C	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員	東芝内部通報窓口を設置し、社内または社外の弁護士事務所へ通報できる仕組みがある。また、社外取締役で構成される監査委員会に直接通報できる監査委員会ホットラインも設置している。いずれも通報者保護のため、匿名性の確保を行っている。	日本語または現地法人所在国言語
D	<input checked="" type="checkbox"/> NGO・NPO	Web ページ上に設置しているお問い合わせ窓口から、製品サービス毎に問い合わせができる仕組みがある	日本語、英語
E	<input checked="" type="checkbox"/> 鉱山・工場立地住民	Web ページ上に設置しているお問い合わせ窓口から、製品サービス毎に問い合わせができる仕組みがある	日本語、英語
F	<input type="checkbox"/> その他（ ）		

質問 1-5-3. フィードバックを得た場合の対処の方法をお書きください。

事実確認、調査等を行ったうえ、必要に応じて、改善処置を講じる。

質問 2. リスクの特定および評価の内容について伺います。

質問 1-3 で A と答えた方にかがいます。（質問 2 全体）

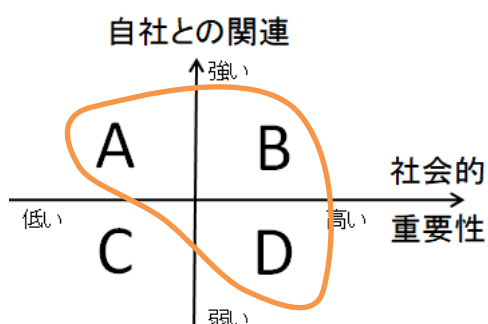
質問 2-1. リスク特定のための情報収集先として当てはまる項目の□にチェックを入れ（複数回答可）。情報収集方法をお書きください。

	情報収集先	情報収集方法
A	<input checked="" type="checkbox"/> サプライヤー	<input checked="" type="checkbox"/> サプライヤーへのアンケート送付（頻度： 必要に応じ ） <input checked="" type="checkbox"/> サプライヤーへの監査（頻度： 必要に応じ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（サプライヤーの現地調査、日常的な打ち合わせ等）
B	<input checked="" type="checkbox"/> 顧客・製品使用者	顧客との対話など
C	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員	東芝グループ内へのアンケート送付
D	<input checked="" type="checkbox"/> NGO・NPO	ダイアログなどを通じて、問題意識の共有のための意見交換を実施している。

E	■ 鉱山・工場立地住民	地域住民との対話会など
F	■ メディア	取材や記者発表などにおける対話など
G	■ その他（業界団体など）	JEITA（一般社団法人 電子情報技術産業協会）「責任ある鉱物調達検討会」に参加し、意見交換・情報収集を行っている。 RBA（Responsible Business Alliance）、RMI（Responsible Mineral Initiative）に参加し、意見交換・情報収集を行っている。

質問 2-2. 評価の基準

A～Dのうち、評価の結果対応すべきリスクと判断される象限を丸で囲んでください。また、社会的 중요性が高いと判断するポイントをお書きください。



社会的 중요性が高いと判断するポイント

（例：テレビ報道、人命の危機 等）

下記への抵触があった場合

- ・ 各国・地域の関連する法令の不遵守
- ・ 基本的人権の侵害（強制労働・非人道的な扱い（奴隷を含む）・人身売買・児童労働・差別等）
- ・ 労働安全衛生に係る問題
- ・ 環境・人体への悪影響

質問 2-3. リスク評価の頻度をご記入ください。（新規取引先認定時、年次、その他必要と判断した時）

質問 3. 特定されたリスクへの対応、具体的な対応フェーズについて伺います。

質問 3-1. 質問 1-3 で A. と答えた方にうかがいます（質問 3-3 まで）。リスク特定および評価プロセスの結果、対応すべきリスクが特定されましたか。

- A. 対応すべきリスクが特定された
- B. 対応すべきリスクは特定されなかった
- C. その他

質問 3-2. 特定されたリスクの内容をお書き下さい。

危険作業、安全配慮の欠如等（詳細は非開示情報のため回答を控えさせていただきます）

質問 3-3. 特定されたリスクへの対応・是正策をお書き下さい。

- A. 対応策・是正策を講じた → 内容を下記にお書き下さい
- B. 特に対応は行っていない
- C. その他（ ）

対応・是正策の内容

危険作業の停止、安全配慮の是正等（詳細は非開示情報のため回答を控えさせていただきます）

質問 3-4. (全ての方に伺います。) 以下のような情報が得られた際の対応をご回答ください

3-4-1) 取引開始時に、その取引先のサプライチェーンが下記に関連しているという情報が得られた場合

カナダの鉱山にてテーリング施設決壊事故が発生し、水銀、鉛、ヒ素などの有害物質を含む汚染水が 260 億リットル流出。カナダ国内で活動する環境 NGO から「カナダ史上最悪の環境災害」とのちに呼ばれる事故が発生しました。その原因としては、鉱山法に抵触する過剰操業、欠陥工事、あるいは事前の環境影響評価が不十分であったことが疑われています。いまだ十分に環境回復はされていないという見方が強いものの、現在同鉱山では操業を再開し、銅、金、銀などの鉱物を輸出しています。

(2014 年 8 月ブリティッシュコロンビア州マウントポーリー (Imperial Metals 社所有) での事象を参考)

取引先に対して東芝グループ調達方針の遵守を依頼し、取引先の調達取引先についても東芝グループ調達方針をご理解いただき、本項目を推進する旨、要請を依頼する。違反事項がある場合、速やかな是正を求める。

3-4-2) 現在取引のある相手のサプライチェーンに関連して下記のような情報が得られた場合

エクアドル銅鉱山の操業に反対する現地先住民族と軍による衝突で警察官一名が死亡、両者にけが人が多数出る事件が発生しました。この鉱山をはじめとして当該山脈で開発されている鉱山地帯の土地はほとんどが元来先住民族の生活していた土地と認知されています。しかしながら、エクアドルの国内法では地下資源の採掘にあたって先住民族への事前の十分な情報に基づく合意 (FPIC) は必要とされておらず、当該鉱山においても先住民族の人びとは鉱山開発のために十分な説明なく強制退去させられています。今回の衝突が激化した背景には国際条約で保障されている先住民族の権利やエクアドル憲法でも保障されているべき権利に対する侵害が行われていたことも背景にあると見られています。

(2016 年 12 月 14 日パナンツァーサンカルロスでの事象を参考)

取引先と当該鉱山との関連性を確認し、サプライチェーンの変更等、人権侵害に加担しない供給を求める。

質問 4. 鉱物・金属調達における環境・社会問題への対応や結果等の公開・コミュニケーションについて伺います。

質問 4-1. 鉱物・金属調達における環境・社会問題への対応や結果を公開していますか。

- A. ウェブサイトで公開している
 B. ウェブサイトで公開していない

質問 4-1-2. 質問 4-1 で A. と答えた方に伺います。掲載項目の にチェックを入れ URL を記載してください。

- A. 問題の背景・自社の問題意識 B. 方針 C. リスク評価手続き・内容 (質問 2 の内容)
 D. 評価結果 (質問 3-1, 3-2 の内容) E. 評価結果に対する対応・是正策 (質問 3-3 の内容)
 F. その他 ()

掲載言語：日本語・英語

URL：<http://www.toshiba.co.jp/csr/jp/performance/social/procure.htm>

質問 4-2. ウェブサイト公開に加え、追加的に行っているコミュニケーションがあれば選択およびそのコミュニケーション方法を記載してください。

		C.リスク評価 手続き・内容	D.評価 結果	E.対応・ 是正策	F.その 他	方法
a	取引先(上流)	■	■	■		取引先説明会やフィードバックの実施
b	顧客・製品使用者	■	■	■		顧客への CMRT による調査結果回答
c	従業員	■	■	■		東芝グループの担当者に対して調査結果を共有している
d	NGO・NPO	■	□	□		RBA(Responsible Business Alliance)、RMI(Responsible Mineral Initiative)への参加と対話
e	鉱山・工場立地住民	□	□	□	■	工場の活動等に関する説明会
f	その他(業界団体)	■	□	□		JEITA(一般社団法人 電子情報技術産業協会)「責任ある鉱物調達検討会」への参加と対話

質問 5. 他社・団体との協力について伺います。

質問 5-1. 責任ある鉱物・金属調達を行うために、自社単独の活動(自社のサプライチェーンにおける活動を含む)以外に御社ではどのような活動を行っていますか？(複数選択可)

A. 国際的な取決めについてロビーイングを行う

B. 国際的なネットワーク等で協力して取組む(参加しているネットワーク等: RBA/RMI)

C. 同業他社と問題を共有する場を持ち、業界を上げて取組む

(参加している取組み: JEITA(一般社団法人 電子情報技術産業協会)「責任ある鉱物調達検討会」
Conflict-Free Sourcing WG(JEITAと自動車業界の連携活動)、RMI(Responsible Mineral Initiative)

D. NGO・NPOや消費者団体と協力して取組む

(協力している団体名:)

E. 採掘に伴う問題の認知度を上げる(取組内容:)

F. 自社単独の活動以外に行っていない

G. その他()

質問 5-2. 鉱物資源・金属調達に関して、NGO との対話に関心はございますか。

A. 関心がある

B. 関心はない

(本回答は公開しません)

質問 5-3. 質問 5-2 で A と答えた方にお伺いします。NGO との対話などにどのようなことを期待しますか。

